

<第 177 回> 平成 26 年 1 月 23 日 (木)

## 「言葉の栄養剤」再び (パート 2)

～ 「元気」 & 「勇氣」の向上をめざして ～

校長 神戸秀巳

昨年この時期に「言葉の栄養剤」を集めてみました> (1月29日、第130回) を掲載したところ、「元気モリモリ、やる気アップします」(山形県)のように、多くの方から連絡をいただいたり、声をかけられました。本校ホームページ中「校長室」にありますので、よければご覧ください。

今年も探し回り、集めてみました。その一部をご紹介します。皆様のお役に立てれば、ありがたい限りです。ご自由にお使いください。敬称は略させていただきます。

なお、ほとんどの文章は一部を抜粋する形になっています。ご了解ください。

### ◆夏目漱石 (芥川龍之介に宛てた書簡より) ※小説家、英文学者

牛になることはどうしても必要です。われわれはとかく馬になりたがるが、牛にはなかなか切れないです。あせってはいけません。頭を悪くしてはいけません。根気づくでお出でなさい。世の中は根気の前に頭を下げる事を知っていますが、花火の前には一瞬の記憶しか与えてくれません。うんうん死ぬまで押すのです。それだけです。

### ◆松下幸之助 ※実業家、発明家、パナソニック創業者

失敗の多くは、成功するまでにあきらめてしまうところに、原因があるように思われる。最後の最後まで、あきらめてはいけないのである。

### ◆ニーチェ (『若き人々への言葉』より) ※ドイツの哲学者

高く登ろうと思うなら、自分の脚を使うことだ。高い所へは、他人によって運ばれてはならない。人の背中や頭に乘ってはならない。

### ◆トーマス・エジソン ※アメリカの発明家、起業家

わたしは、今までに、一度も失敗をしたことがない。電球が光らないという発見を、今まで二万回したのだ。

### ◆ウィンストン・チャーチル ※イギリスの政治家・首相、ノーベル文学賞受賞

危険が迫った時、背中を向けて逃げ出すようではだめだ。かえって危険が2倍になる。しかし、決然として立ち向かえば、危険は半分に減る。何事に出会っても決して逃げ出すな。決して!

### ◆チャップリン ※イギリスの俳優、映画監督、コメディアン

人に大切なのは、自信を持つことだ。私が孤児院にいたとき、腹をすかせて街をうろついて食いものをあさっていたときでも、自分では世界一の役者ぐらいのつもりでいた。つまり、勝ち気だったのだ。こいつをなくしてしまったら、人は打ち負かされてしまう。

◆**武者小路実篤**（『人生論集4 幸福の条件』より） ※小説家、詩人、劇作家

尊敬すべき幸福な人は、逆境にいても、つまらぬことはくよくよせず、心配しても始まらないことは心配せず、自分の力のないことは天に任せて、自分の心がけをよくし、根本から再生の努力をする人である。

◆**デール・カーネギー**（『人を動かす』より） ※アメリカの実業家、作家

人を動かす秘訣は、この世に、ただ一つしかない。この事実気づいている人は、はなはだ少ないように思われる。しかし、人を動かす秘訣は、間違いなく、一つしかないのである。すなわち、みずから動きたくなる気持ちを起こさせること。これが、秘訣だ。重ねて言うが、これ以外に秘訣はない。もちろん、相手の胸にピストルを突きつけて、腕時計を差し出したくなる気持ちを起こさせることはできる。従業員を首切りでおどして、協力させることもできる。少なくとも、こういうお粗末な方法には、常に好ましくない跳ね返りがつきものだ。人を動かすには、相手の欲しているものを与えるのが、唯一の方法である。

◆**相田みつを** ※詩人、書家

ぐちをこぼしたっていいがな 弱音を吐いたっていいがな 人間だもの  
たまには涙をみせたっていいがな 生きているんだもの

◆**本田宗一郎** ※実業家、技術者、本田技研工業の創業者

技術屋ってのは、手でモノを作る商売なんで、しゃべったり、文章を書いたりするのは俺は苦手なんだよ。その俺にかしこまった人生訓だの家庭訓だなんて苦手だね。だいたい、おれにとって家庭訓が一番難しいってことは、世間様のほうがよく知っているよ。それでもまあ、自分の生き方を強いて言うなら「当たり前のことを当たり前にする」ってことかな。こんなことは人生訓にやならないかもしれないけど、俺はこれまで当たり前のことを当たり前に来てきたつもりだよ。

◆**徳川家康** ※江戸幕府の初代征夷大將軍

勝つことばかり知りて、負くること知らざれば、害その身に至る。

◆**ゲーテ** ※ドイツの詩人、小説家、劇作家

立派な目標と偉大な仕事をやり遂げる道は二つしかない。体力と耐久力である。体力はほんの一握りの恵まれた人間のものである。しかし厳しく身を守り、常に耐え抜くことは、ごく弱小な者でもできるし、たいていの場合目標を達成する。これは、彼の無言の力が時が経つにつれ、何ものにあってもへこたれないほど強力になるからだ。

◆**中村天風** ※日本初のヨーガ行者、天風会の創始者

絶対に消極的な言葉は使わないこと。否定的な言葉は口から出さないこと。悲観的な言葉なんか、断然もう自分の言葉の中にはないんだと考えるくらいの厳格さを、持っていなければだめなんですよ。

◆**坂本龍馬** ※江戸時代末期の志士、土佐藩郷士  
世の人は我を何とも言わば言え 我が成す事は我のみぞ知る

◆**ジョン・レノン** ※イギリスのミュージシャン、「ビートルズ」のリーダー  
「どんな人だって成功できる」 自分にそう何度も言い聞かせ続けていれば、絶対に成功できるのです。

◆**アインシュタイン** ※理論物理学者、ノーベル物理学賞受賞  
過去から学び、今日のために生き、未来に対して希望をもつ。大切なことは、何も疑問を持たない状態に陥らないことである。

◆**スティーブ・ジョブズ** ※アメリカの実業家、アップル創業者  
素晴らしい仕事をするには、自分のやっていることを好きにならなくてはいけない。まだそれを見つけていないのなら、探すのをやめてはいけない。安住してはいけない。心の問題のすべてがそうであるように、答えを見つけたときには、自然とわかるはずだ。

◆**ネルソン・マンデラ** ※南アフリカ共和国の政治家、ノーベル平和賞受賞  
生きるうえで最も偉大な栄光は、決して転ばないことにあるのではない。転ぶたびに起き上がり続けることにある。

◆**ヘレン・ケラー** ※アメリカの教育家、社会福祉活動家  
ひとつの幸せのドアが閉じる時、もうひとつのドアが開く。しかし、よく私たちは閉じたドアばかりに目を奪われ、開いたドアに気付かない。

◆**吉田松陰** ※江戸時代末期の思想家、教育家、明治維新の精神的指導者  
夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。

◆**森信三（『修身教授録』より）** ※日本の教育者、哲学者  
「先の見通しがどれほど利くか」「どれほど他人の気持ちの察しがつくか」「何事についても、どれほどバランスを心得ているか」この3つで、人間の知恵は一応わかる。

◆**二宮尊徳（金次郎）** ※江戸時代後期の農政家、思想家 小田原生まれ  
大事を成さんと欲する者は、まず小事を務むべし。大事を成さんと欲して小事を怠り、その成り難きを憂いて、成り易きを務めざる者は、小人の常なり。それ小を積みば大となる。積小為大（せきしょういだい） = 小さな努力の積み重ねが、やがて大きな収穫や発展に結びつく。小事をおろそかにして、大事を為すことはできない。